

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	19 伊東市における新伊東市民病院へのアクセス強化による安全安心なまちづくり						
計画の期間	平成21年度～平成25年度（5年間）	交付団体	伊東市				
計画の目標	平成25年4月に開院が予定されている新伊東市民病院（総合病院）への円滑な患者輸送を支援するための道路整備と併せ、中心市街地の交通安全施設整備を行い、安心安全な観光都市づくりを形成する。						
計画の成果目標（アウトカム指標）	① 新市民病院への30分到達人口率80%（H21）から99%（H25）に拡大。 ② 伊東市内交通事故件数を20%削減。						
アウトカム指標の定義及び算定式	① 実地走行調査により伊東市内各地区から新市民病院まで30分以内到達人口を推計し、全体人口に占める割合を算出する。 （30分到達可能人口の割合）＝（現地走行調査による市内各地区から新市民病院30分以内到達人口）／（全体人口） ② H20交通事故件数を基準に各年度の交通事故削減率を算出する。 （交通事故削減率）＝（1－（当該年度交通事故件数）／（H20交通事故件数））×100		アウトカム指標の現況値及び目標値 当初現況値（H21当初） 80% 中間目標値（H23末） 89% 最終目標値（H25末） 99% (H20統計) - (H22統計) (H24統計) - -10% -20%				
全体事業費	合計 (A+B+C)	1,301 百万円 A	1,291 百万円 B	0 百万円 C	10 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.8%

事後評価

○ 事後評価の実施体制、実施時期	建設部内で事業評価を実施した
事後評価の実施時期	平成27年度
公表の方法	当市のホームページで公表

1. 交付対象事業の進捗状況 【 ○：計画期間中に完成 △：計画期間終了後に完成見込（備考欄に完成予定時期を記入） -：その他（備考欄に記入） 】

A 地方道路整備事業													全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考				
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業主体	道路種別	省略工種	率 (基本)	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)							
												H21	H22	H23	H24	H25			
19-A1	道路	一般	伊東市	直接	伊東市	市町村道	改築	0.55	(1) 富戸・梅の木平線	現道拡幅 L=0.38km	伊東市					504	△	H26から計画54で継続 H30	
19-A2	道路	一般	伊東市	直接	伊東市	市町村道	改築	0.55	(1) 三の原線	現道拡幅 L=0.25km	伊東市					117	○		
19-A3	道路	一般	伊東市	直接	伊東市	市町村道	改築	0.55	(1) 泉・城星線	現道拡幅 L=0.05km	伊東市					105	△	H26から計画54で継続 H30	
19-A4	道路	一般	伊東市	直接	伊東市	市町村道	交安	0.55	(他) 桜木1号線	歩道整備 L=0.20km	伊東市					26	△	H25から計画32に移行 H26	
19-A5	道路	一般	伊東市	直接	伊東市	市町村道	交安	0.55	(1) 中里・峯・大見線	歩道整備 L=0.30km	伊東市					54	○		
19-A6	道路	一般	伊東市	直接	伊東市	市町村道	交安	0.55	(他) 城宿・中島線	歩道舗装 L=0.55km	伊東市					5	○		
19-A7	道路	一般	伊東市	直接	伊東市	市町村道	交安	0.55	(1) 郷戸・芝原線	歩道舗装 L=0.47km	伊東市					11	○		
19-A8	道路	一般	伊東市	直接	伊東市	市町村道	交安	0.55	(2) 阿原田線	歩道整備 L=0.24km	伊東市					5	○		
19-A9	道路	一般	伊東市	直接	伊東市	市町村道	交安	0.55	(他) 城宿・仲芝線	歩道整備 L=0.15km	伊東市					1	○		
19-A11	道路	一般	伊東市	直接	伊東市	市町村道	交安	0.55	(他) 下峯・仲芝線	歩道舗装 L=0.27km	伊東市					5	○		
19-A12	道路	一般	伊東市	直接	伊東市	市町村道	交安	0.55	(2) 郷戸3号線	歩道整備 L=0.15km	伊東市					4	○		
19-A13	道路	一般	伊東市	直接	伊東市	市町村道	交安	0.55	(他) 大境・初津線	歩道舗装 L=0.56km	伊東市					6	○		
19-A14	道路	一般	伊東市	直接	伊東市	市町村道	修繕	0.55	(2) 松原・鎌田線	舗装補修 L=1.25km	伊東市					224	○		
19-A15	道路	一般	伊東市	直接	伊東市	市町村道	修繕	0.55	(1) 萩・一碧湖・梅の木平線	舗装補修 L=1.36km	伊東市					98	○	H25から計画33に移行 H25	
19-A16	道路	一般	伊東市	直接	伊東市	市町村道	修繕	0.55	(2) 芹田・大原線	舗装補修 L=0.36km	伊東市					30	○	H25から計画33に移行 H25	
19-A18	道路	一般	伊東市	直接	伊東市	市町村道	交安	0.5	伊東市松原・玖須美地区 (他) 東松原町4号線 (東松原町)	歩車共存道路 L=0.12km	伊東市					23	○		
19-A22	道路	一般	伊東市	直接	伊東市	市町村道	交安	0.55	伊東市松原・玖須美地区 (2) 松原・鎌田線 (松原本町)	歩道整備 L=0.13km	伊東市					3	○		
19-A23	道路	一般	伊東市	直接	伊東市	市町村道	交安	0.5	伊東市松原・玖須美地区 (他) 松原本町6号線外 (松原本町・東松原町)	歩車共存道路 L=0.20km	伊東市					26	○		
19-A24	道路	一般	伊東市	直接	伊東市	市町村道	交安	0.55	伊東市松原・玖須美地区 (他) 松原本町・寿町線外 (松原本町)	歩車共存道路 L=0.21km	伊東市					41	○	H25から計画32に移行 H25	
19-A27	道路	一般	伊東市	直接	伊東市	市町村道	交安	0.55	伊東市松原・玖須美地区 (他) 落5号線 (落町)	歩車共存道路 L=0.20km	伊東市					3	△	H25から計画32に移行 H26	
合計												1,291							

B 関連社会資本整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業主体	省略工種	率(基本)	要素事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	進捗状況	備考
											H21	H22	H23	H24	H25			
合計																0		

番号	一体的に実施することにより期待される効果																			備考

C 効果促進事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業主体	省略工種	率(基本)	要素事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	進捗状況	備考
											H21	H22	H23	H24	H25			
19-C1	調査・計画	一般	伊東市	直接		点検・計画	0.5	長寿命化修繕計画(15m以上)	橋梁点検 N=7橋	伊東市						2	○	
19-C2	調査・計画	一般	伊東市	直接		点検・計画	0.55	長寿命化修繕計画(15m未満)	橋梁点検 N=13橋	伊東市						2	○	
19-C3	調査・計画	一般	伊東市	直接		点検・計画	0.55	長寿命化修繕計画	橋梁点検 N=1橋・計画策定 N=34橋	伊東市						6	○	
合計																10		

番号	一体的に実施することにより期待される効果																			備考
19-C1	橋梁の長寿命化修繕計画を策定することにより、橋梁の長寿命化並びに橋梁の修繕及び架替えに係る費用の削減を図りつつ、地域の道路網の安全性・信頼性を確保する。																			
19-C2	橋梁の長寿命化修繕計画を策定することにより、橋梁の長寿命化並びに橋梁の修繕及び架替えに係る費用の削減を図りつつ、地域の道路網の安全性・信頼性を確保する。																			
19-C3	橋梁の長寿命化修繕計画を策定することにより、橋梁の長寿命化並びに橋梁の修繕及び架替えに係る費用の削減を図りつつ、地域の道路網の安全性・信頼性を確保する。																			

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

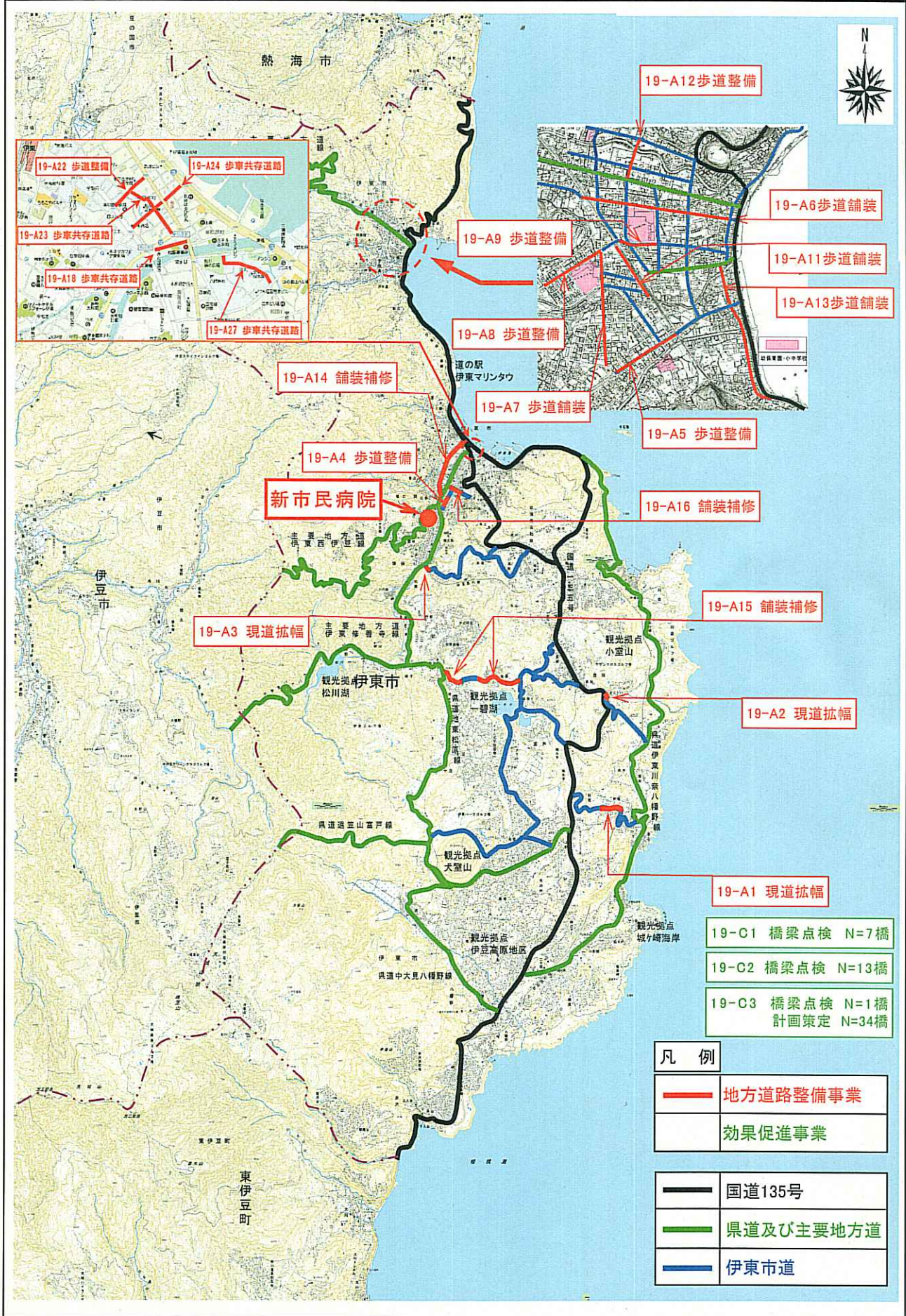
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<p>①新市民病院への30分到達人口率については、最終目標値の達成には至らなかった。しかしながら、実施した事業による旅行速度の改善により、八幡野地区の所要時間が短縮された。今後、富戸・梅の木平線現道拡幅工事の進捗に伴い、富戸地区の短縮が期待できる。</p> <p>②交通事故件数削減率については、最終目標値の達成には至らなかった。しかしながら、宇佐美地区の人身事故における対面・背面通行中の事故件数に一定の効果が認められた。</p>															
II 定量的指標の達成状況	指標① (新市民病院への30分到達人口率)	最終目標値	99%		目標値と実績値に差が出た要因	他事業との調整等により、当初計画していた整備ができなかったことが大きく影響している。今後、次期計画へ移行した事業の整備を進めることで、到達人口率の向上に努めたい。											
		最終実績値	90%														
	指標② (交通事故件数削減率)	最終目標値	市内全域	-20%		目標値と実績値に差が出た要因	指標を計測する値として交通事故件数削減率を用いたが、従前後において、歩道等の整備率の向上に伴い顕著に表れる数字でないことが、目標達成度に影響したと考えられる。また、交通事故内容を区分別(地区・類型等)に絞込み、比較することで、事業評価の明確化に繋がっていくと考えられる。										
		最終実績値		-1.2%													
	その他の数値指標② (交通事故件数削減率)	従前値	宇佐美地区	0%		目標値と実績値に差が出た要因	伊東市宇佐美地区においては、歩道の新設及び路側帯のカラー舗装等を計画どおり実施できたことにより、対面・背面通行中の人身事故件数は、ほとんど無く、一定の効果が出たと考えられる。										
		最終実績値		-100%													
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		道路幅員の拡幅、舗装の整備、歩道の整備等が進み、道路環境が向上したことにより、市民生活における安心・安全性及び快適性が向上したと考えられる。															

3. 特記事項(今後の方針等)

遅れの生じている事業の進捗に鋭意に取り組むと同時に、計画的な道路整備等をより一層行っていくことで、円滑な患者輸送を向上させ、市民の安心・安全な暮らしの支援を進めていきたい。

社会資本総合整備計画（参考図面）

計画の名称	19 伊東市における新市民病院へのアクセス強化による安全安心なまちづくり	交付団体	伊東市
計画の期間	平成21年度～平成25年度（5年間）		



凡例	
	地方道路整備事業
	効果促進事業
	国道135号
	県道及び主要地方道
	伊東市道